

日本も元気にする青年海外協力隊 ⑩ 愛知県

Interview 01

途上国を取り巻く問題を身近に感じたことで途上国への思いやその後の生活に大きな影響を与えている。

愛知県青年海外協力隊を支援する会 一般社団法人 アフリカ協会 武藤 一郎さん (愛知県名古屋市在住)



派遣国
タンザニア (畜産物加工)
派遣期間
1970.3~1977.3
1977.4~1981.3

Interview 03

「人は人、自分は自分」と割り切ることで責任は自分にあると考えるように。

トヨタ車体株式会社 佐藤 重一さん (愛知県半田市在住)



派遣国
サモア (経済・市場調査)
派遣期間
1985.12~1988.4

Interview 05

地域にどっぷりと浸かって村人ともに行った活動は、その後の研究テーマの原点となる経験に。

愛知医科大学 看護学 教授 坂本 真理子さん



派遣国
マレーシア (保健師)
派遣期間
1987.7~1989.10

Interview 07

協力隊の経験は自分の性格や弱さを気づかせてくれた。

名古屋市立浦里小学校 伊部 真美さん (愛知県名古屋市在住)



派遣国
日系社会青年ボランティア
ブラジル (日本語教師)
派遣期間
1996.3~1998.8

Interview 09

青年海外協力隊として現地で活動した土台が、今のビジネスに通じる信頼関係の基礎に。

アフリカ工房代表 前田 真澄さん (愛知県名古屋市在住)



派遣国
ガーナ (村落開発普及員)
派遣期間
2001.12~2003.12

Interview 02

相手の文化、習慣、宗教を受け入れることが国際交流の第一歩だと学んだ。

公益社団法人 青年海外協力協会 石井 範子さん



派遣国
マレーシア (幼稚園教諭)
派遣期間
1983.7~1985.12

Interview 04

「郷に入れば郷に従え」海外で快適に暮らすためのHOW TOを体得。

大坪 裕美さん

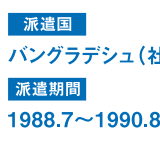


派遣国
バングラデシュ (婦人子供服)
派遣期間
1987.3~1989.3

Interview 06

バングラデシュの人々から学んだ、「共食」を通じて人と関わることの大切さ。

名古屋大学大学院国際開発研究科 研究科長 伊東 早苗さん (愛知県名古屋市在住)



派遣国
バングラデシュ (社会学・文化人類学)
派遣期間
1988.7~1990.8

Interview 08

なんとなく生きていた自分を変えた2年間。

株式会社山田組 平田 朱美さん



派遣国
パナマ (土壌肥料)
派遣期間
1998.7~2000.7

Interview 10

ここに来なかったら、今よりももっと小さなことに一喜一憂し、「こうでなければならない」という思い込みにとらわれていたと思います。

JICA関西 田島 ゆかりさん



派遣国
グアテマラ (感染症対策)
派遣期間
2003.4~2005.10

Interview 11

2年間で一番驚いたことは、50M走でまっすぐ走れない子どもたちを目の当たりにした経験です。

ガレージG.T.O. 鉦田 直史さん



派遣国
モルディブ (体育)
派遣期間
2004.7~2006.7

Interview 13

協力隊に参加していなければ、今と全く違う人生を歩んでいただろうな、と思います。

フリーランス・ファシリテーター 稲葉 久之さん (愛知県名古屋市在住)



派遣国
セネガル (村落開発普及員)
派遣期間
2005.4~2007.4

Interview 15

相手の話をよく聞き、その本質を引き出すことの重要性和、スペイン語でのコミュニケーション能力が今の仕事に役立っている。

かどけん治療院 加藤 健二さん (愛知県豊田市在住)



派遣国
パナマ (村落開発普及員)
派遣期間
2005.7~2007.7

Interview 17

人が持っている力や可能性を知れたことは、今の仕事の根幹となっている。

一般社団法人 仕事ノアル暮らし 田中 悦子さん



派遣国
ルワンダ (ソーシャルワーカー)
派遣期間
2006.3~2008.3

Interview 19

海外で活動する上で大切なことを協力隊の活動から習得。

特定非営利活動法人ル・スリール・ジャポン 石田 純哉さん (愛知県春日井市在住)



派遣国
ガーナ (村落開発普及員)
派遣期間
2006.10~2008.7

Interview 12

自分の心の支柱となった、「違っていいんだ」という「発見」。

豊橋市 多文化共生・国際課 武村 慈子さん (愛知県豊橋市在住)



派遣国
日系社会青年ボランティア
ブラジル (日本語教師)
派遣期間
2005.1~2007.1

Interview 14

ブラジルで学んだその全てが今の私の基盤となっています。

知立市教育委員会早期適応教室指導員 NPO法人みらい 代表理事 越智 さや香さん (愛知県知立市在住)



派遣国
日系社会青年ボランティア
ブラジル (日本語教師)
派遣期間
2005.6~2007.6

Interview 16

物事に柔軟に対応できる気持ちと姿勢がもてるように。

公益社団法人 青年海外協力協会 加藤 有紀さん



派遣国
中華人民共和国 (日本語教師)
派遣期間
2005.7~2007.7

Interview 18

青年海外協力隊の醍醐味は、活動を通して障壁があった時にどのように解決していくか、またどのようなアプローチを行うのかを考え、行動することにある。

公益社団法人 青年海外協力協会 佐々木 学さん (愛知県名古屋市在住)



派遣国
スリランカ (テニス)
派遣期間
2006.6~2008.6

Interview 20

活動したパナマ共和国で得た一番の宝物は人と人との絆。

知立市立知立南中学校 永坂 美香さん (愛知県稲沢市在住)



派遣国
パナマ (青少年活動)
派遣期間
2007.1~2009.1

Interview 21

協力隊の経験から、より主体的に人生に向きあうことができるように。

豊橋市 多文化共生・国際課 三輪田 貴さん (愛知県安城市在住)



派遣国
ウガンダ (村落開発普及員)
派遣期間
2007.3~2009.3

Interview 23

協力隊事業の専門家！それが私の夢です。

JICAガーナ事務所 佐屋 達紀さん (ガーナ在住)



派遣国
ケニア (自動車整備)
派遣期間
2008.3~2010.3

Interview 25

「自分の個性は自分の魅力」と考えられるようになり、他者に対して以前より寛容に。

公益社団法人 青年海外協力協会 蒲 美幸さん (愛知県日進市出身)



派遣国
日系社会青年ボランティア
ブラジル (日本語教師)
派遣期間
2008.7~2010.7

Interview 27

2年間の活動を通じて、今後の人生における信念を感得。

トヨタ自動車株式会社 笠波 倫年さん



派遣国
モンゴル (デザイン)
派遣期間
2010.9~2012.9

Interview 29

私を大きく成長させてくれた、ゼロから作るという体験。

中学校教員 前田 元紀さん



派遣国
ニジェール・セネガル (体育)
派遣期間
2011.1~2013.1

Interview 22

「知恵があれば人生どうにかなる」物がなくても知恵を絞って切り抜ける人々の逞しさは今も私にポジティブな思考を与えてくれる。

daladala 佐屋 眸さん



派遣国
モンゴル (デザイン)
派遣期間
2008.1~2010.1

Interview 24

活動に行き詰ったときに学んだ、「感謝の心」を持って「諦めずにやってみること」。

愛知県東海市立加木屋南小学校 日比野 育世さん (愛知県常滑市在住)



派遣国
ラオス (小学校教諭)
派遣期間
2008.6~2010.3

Interview 26

協力隊、ウガンダが今の人生の始まりであり、原点である。

NEOTOYAMA 代表 古民家couch オーナー 田淵 琢真さん



派遣国
ウガンダ (村落開発普及員)
派遣期間
2009.6~2011.6

Interview 28

協力隊で得た最も大きな財産は、人との出会い。

人間環境大学 人間環境学部 環境科学科教員 武田 淳さん (愛知県豊川市在住)



派遣国
コスタリカ (社会学・文化人類学)
派遣期間
2010.10~2012.10

Interview 30

相手を尊重し、理解しようとするのが、いつでもどこでも一番大切だと教えられた。

愛知県 振興部 地域政策課 三宅 明日香さん (愛知県稲沢市出身)



派遣国
ベナン (村落開発普及員)
派遣期間
2011.1~2013.1